

## 県行政とかかわりを持ちたい人へ

## Q5 行政と一緒に活動する方法(協働)について教えてほしい

A5

協働によって、より良い  
地域づくりを進めましょう



県民の皆さんと県行政が協働し、お互いの特性や能力を発揮しながら取り組むことで、相乗効果が生まれ、県民ニーズを踏まえたきめこまやかなサービスの提供や、行政の考え方・仕組みの改善による効率的・効果的なサービスの提供が可能となります。

また、県民の皆さんにとっては、すすんで地域づくり活動に取り組んでいただくことで、地域社会で役立っているという生きがい生まれ、自己実現につながります。

こうした考え方のもと、兵庫県では、県民の皆さんとのパートナーシップによる河川等の維持管理(ひょうごアドプト)や、県民の皆さんからの募金・ボランティアの募集などにより広く県民に支えられたイベントの開催(「のじぎく兵庫国体」「のじぎく大会」)など、公民協働による効果的な施策の実施に取り組んでいます。

地域づくりは、県行政だけが行うものでも、県民の皆さんだけが行うものでもなく、みんなで協働して行っていくものです。皆さんもぜひ県行政と協働してみてください。

### 県の施策・事業

協働による施策・事業には様々なものがあります。ここでは、その一例を紹介します。

◇ひょうごアドプト：兵庫県管理の道路、河川、海岸などの公共物の一定区間と美化清掃などを行うボランティア団体(住民や企業)とが、団体、県、市町の三者による合意書の締結により「養子縁組(アドプト)」し、快適な生活環境の創出に取り組んでいます。参加団体は担当地区の清掃美化、草刈り、植栽などを行い、県は団体名などを表示する看板の設置や、ボランティア保険への加入、軍手・ゴミ袋の支給などの支援をしています。

[http://web.pref.hyogo.jp/wd03/wd03\\_000000040.html](http://web.pref.hyogo.jp/wd03/wd03_000000040.html)